

令和7年度 新潟県立歴史博物館 前期講座(5月～9月)のご案内・申し込み書(2025. 3)

前期の申し込みは4/1～受付いたします。

□お申込日: 月 日

□お名前: (読み方) □お電話番号: ()

□ご住所:

裏面あり

| 期 日 | 曜 | 時 間 | 講 座 名 | 講 師 | 内 容 | 対象 | 定員 | 会場 | 御希望の欄に「○」をつけてください | お申込み人数 |
|-------|---|-------------|---------------------------------------|---|---|----|-----|-------------------|-------------------|--------|
| 5月10日 | 土 | 13:30～15:00 | 春季企画展 関連講座 人とガラスの歴史をさかのぼる | 橋詰 潤 | 人工物としてのガラスの利用をさらにさかのぼって、黒曜石の利用など人と天然ガラスのかかわりに触れながら、人とガラスの数十万年にわたる歴史について紹介します。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 5月18日 | 日 | 13:30～15:00 | 春季企画展 記念講演会 「古代ガラスの輝き」 | 宮下佐江子氏 <small>国士舘大学 イラク古代文化研究所</small> | 春季企画展では人が生み出した古代ガラスの魅力を紹介します。本講演会では、古代地中海世界、古代オリエント世界、東アジア世界という3つの領域を中心に、4000年にわたって愛されてきたガラスと人の長い歴史について紹介します。 | 一般 | 150 | 講堂 | | |
| 5月31日 | 土 | 13:30～15:00 | はじめての民俗学 —『蝸牛考』を読む— | 岩瀬 春奈 | 梅雨の時期に見かける「蝸牛」。「かたつむり」、「でんでんむし」など様々な呼び方があります。この講座では、柳田國男の『蝸牛考』を題材に、日本列島の文化を読み解きます。民俗学の見ている日本列島の姿を一緒にのぞいてみませんか。入門編よりやさしい、民俗学を知るための講座です。 ※持ち物…カラーペンor色鉛筆 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 6月7日 | 土 | 13:30～15:00 | 縄文の「技」と「美」① —漆工芸の世界— | 永瀬 史人 | 縄文人は、漆の性質や特徴を熟知していたとみられ、器や弓のほか、装身具など身を飾るものに漆を多用していました。今回は、縄文時代に作り出された様々な漆製品を紹介すると共に、近年の研究から分かってきたその工芸技術に迫ります。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 6月14日 | 土 | 13:30～15:00 | 石器鑑賞入門5 「玉」と「珠」: 美しき珠玉の世界 | 橋詰 潤 | 博物館でよく見かける石で作られた道具たち。横目で見ながら素通りしていませんか？知れば知るほどおもしろい石器の魅力を基礎から学びましょう。今回はヒスイや青玉石、赤玉石だけではなく、旧石器時代より人びとの身を飾ってきた様々な美しき珠玉たちについて紹介します。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 7月5日 | 土 | 13:30～15:00 | 民俗収蔵庫で資料を見よう | 陳 玲 | 開館25周年を機に、これまでの民俗資料の収集活動を振り返り、いくつかの資料群を当館の民俗収蔵庫で紹介します。 | 一般 | 15 | 研修室 | | |
| 7月12日 | 土 | 13:30～15:00 | 盆花・盆飾りに利用される 野生植物 | 三国 信一 | 新潟県内では、さまざまな植物が盆花や盆飾りに利用されています。どのような植物がどのように利用されているのか、その実態を紹介し、共通点を探ります。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 7月12日 | 土 | 13:30～15:00 | 館外講座 地域の資料館・博物館の現地見学会 —岩室民俗史料館— | 陳 玲 | 新潟市西蒲区の生活用具や生産用具が岩室民俗史料館に収集され、この地域の自然環境や生活文化を知る貴重な民俗資料となっています。今回の見学会では、現地で「ツヅレ」「サシモン」と呼ばれる仕事着の資料群について紹介します。 | 一般 | 15 | 岩室民俗資料館 (現地集合) | | |

| 期 日 | 曜 | 時 間 | 講 座 名 | 講 師 | 内 容 | 対 象 | 定 員 | 会 場 | 御希望の欄に「○」をつけてください | お申込み人数 |
|-------|---|-------------|--|------------------|--|---------|-----|--------------------|-------------------|--------|
| 7月19日 | 土 | 13:30～15:00 | 館外講座 地域の資料館・博物館の現地見学会 —阿賀町郷土資料館— | 陳 玲 | 阿賀町の生活用具や生産用具が阿賀町郷土資料館に収集され、この地域の自然環境や生活文化を知る貴重な民俗資料となっています。今回の見学会では、現地で「モッコ」と呼ばれる仕事着の資料群について紹介します。 | 一般 | 15 | 阿賀町郷土資料館 (現地集合) | | |
| 8月9日 | 土 | 13:30～15:00 | 民俗学入門 —柳田國男の『妖怪談義』を読む— | 岩瀬 春奈 | 民俗学の創始者である柳田國男の『妖怪談義』を読みます。民俗学は「妖怪」を研究対象としてきました。この講座では、「妖怪」を題材に民俗学の方法を学びます。民俗学を知るための講座です。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 9月13日 | 土 | 13:30～15:00 | 秋季企画展 関連講座 新潟県の飴文化 | 渡部 浩二 | 秋季企画展の展示解説をかねて、新潟県の飴にまつわる歴史や文化について紹介します。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 9月20日 | 土 | 13:30～15:00 | 前近代の情報伝達 | 浅井 勝利 | 現代のような通信インフラのない時代に「どのように遠隔地に情報を伝達していたのか？」古代を中心に考えてみます。 | 一般 | 50 | 研修室 | | |
| 9月27日 | 土 | 13:30～15:00 | 体験型講座 博物館のうらがわ探検ツアー | 三国 信一 | 「博物館の裏側はどうなっているの?」「どんな仕事をしているの?」、ふだんは見るできない博物館のバックヤードを探検します。 | 一般・小中学生 | 10 | 研修室 | | |
| 9月28日 | 日 | 13:30～15:00 | 秋季企画展 記念講演会 「飴と飴売りの民俗誌」 | 牛嶋 英俊氏 食文化研究者 | 神武天皇の説話にも登場する飴は、食品だけでなく薬や調味料としても広く生活に根ざしていました。そのルーツと時代による変遷、飴売りはなぜ笛を吹くのか、新年になぜ飴を買うのかなど、国内外の諸例をもとに深掘りします。 | 一般 | 150 | 講堂 | | |

< 申込時期・申込方法 >

申込時期 : **前期講座のお申し込みは4月1日から、以下のいずれかの方法でお申し込みください。4月1日前のお申し込みは受付できませんので、ご了承ください。**

申込方法 : お申し込みは、「この用紙」「館内の講座参加申込書」「電話」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

※講師都合等による実施日の延期(中止)という場合があります。その際、申込者にはご連絡をいたします。

お申込されていない方は、当館ホームページなどでご確認ください。

※お申し込みをキャンセルされる場合は、事前に下の連絡先へご連絡くださるようお願いいたします。

○申込み状況により、実施の可否や内容、定員や会場についての変更が生じる場合がございます。ご理解をいただけますようお願いいたします。

○お申し込み後の変更につきましては、お申し込みをいただいた皆様へご連絡をいたします。また、ホームページに掲載をいたしますので、そちらもご覧ください。

こちらから、当館ホームページの講座情報をご覧いただくことができます。



[申込先]

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1-2247-2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※お申し込みいただいた際の個人情報、実施の可否、及び中止・延期等の連絡以外には使用いたしません。